

あ と が き

本校の自己点検・評価に関する報告書は、これまで5度（平成6年、11年、18年、23年、平成29年のそれぞれ3月）「明石工業高等専門学校現状と課題」と題して発行されてきた。平成30年に3回目の高等専門学校機関別認証評価を受審し、これを機に自己点検・評価に関する報告書の取りまとめ時期を見直した。今回の報告書は、平成30年の機関別認証評価における優れた点の伸長、改善を要する点の改善それぞれの状況を検証することを含めて教育活動の点検と評価を行ったものである。

平成18年度より、各年度において有識者懇談会を外部評価委員会と位置づけ、各年度開催しており、近年の開催においては特に本校が今後育成していくべき人材像を特色ある教育プログラムの各事業に即した形で課題としてきた。また、令和3年度有識者懇談会はこれまでの経緯を踏まえ、学校活動全体について検討された。令和2年度に大学教育再生加速プログラムのアクティブ・ラーニング事業を引き継いだ三菱みらい育成財団助成事業「心のエンジンを加速させるプログラム」が採択され、国立高専機構から選定を受けたグローバル高専モデル校として令和元年度より第1学年への留学生受け入れを開始した。本校の特徴である各事業を強力で推進している状況にある。

学齢人口が減少していく中で、学校は常に教育情勢、国の教育施策、産業界の要請、地域環境等を調査し、将来計画並びに学校の行動機軸を立案していくことが求められる。本報告でまとめられている教育研究活動の改善を継続的に行う仕組みを今後も整備、機能させていきたい。

最後に本報告書の作成にあたり各基準の担当の皆様と関係教職員に厚くお礼申し上げます。

令和4年3月

明石工業高等専門学校将来計画・自己点検等委員会委員長

令和3年度自己点検・評価作業部会部会長

江口忠臣

明石工業高等専門学校将来計画・自己点検等委員会委員名簿

委員長	副校長（総務担当）	江	口	忠	臣
委員	校長補佐（教務主事）	森	下	智	博
	校長補佐（学生主事）	穉	本	浩	美
	校長補佐（寮務主事）	平	石	年	弘
	校長補佐（専攻科長）	中	西		寛
	イノベーションオフィス長	梶	村	好	宏
	事務部長	稲	垣	幸	三
	総務課長	鶉	野	晃	弘
	学生課長	丸	尾	博	司

令和3年度自己点検・評価作業部会・専門部会名簿

【作業部会】	所属	役職名	氏名
部会長	都市システム工学科	副校長	江口 忠臣
副部会長	事務部	事務部長	稲垣 幸三
	電気情報工学科	イノベーション オフィス長	梶村 好宏
部会員	専攻科	専攻科長	中西 寛
	機械工学科	学科長	加藤 隆弘
	機械工学科	教務主事	森下 智博
	電気情報工学科	学科長	周山 大慶
	電気情報工学科	学生支援オフィス 長	濱田 幸弘
	都市システム工学科	学科長	神田 佳一
	建築学科	学科長	中川 肇
	建築学科	寮務主事	平石 年弘
	人文科学	系長	ハーバートジョン
	自然科学	系長	高田 功
	人文科学	学生主事	穉本 浩美
	事務部	総務課長	鶉野 晃弘
	事務部	学生課長	丸尾 博司

【専門部会】		専門部会長	専門副会長	専門部会員		
基準1	教育の内部質保証システム	中川 肇	上 泰	ハーバートジョン	石丸 和宏	関森 大介
基準2	教育組織及び教員・教育支援者等	加藤 隆弘	渡部 守義	北川 千穂	東野 アドリアナ	岩野 俊樹
基準3	学習環境及び学生支援等	穉本 浩美	荒川 裕紀	濱田 幸弘	鍋島 康之	松塚 直樹
基準4	財務基盤及び管理運営	鶉野 晃弘	丸尾 博司			
基準5	準学士課程の教育課程・教育方法	高田 功	水島 あかね	史 風輝	廣田 敦志	後藤 太之
基準6	準学士課程の学生の受入れ	森下 智博	武田 宇満	井上 英俊	小笠原 弘道	
基準7	準学士課程の学習・教育の成果	平石 年弘	田中 誠一	細川 篤	三好 崇夫	
基準8	専攻科課程の教育活動の状況	中西 寛	任所 直哉	大向 聖人	西田 康裕	大森 茂俊
(選択的評価) 基準9、10	研究活動の状況 地域貢献活動等の状況	神田 佳一	周山 大慶	工藤 和美	長尾 秀人	

自己点検・評価報告書

－明石工業高等専門学校の現状と課題－

令和4年3月発行

独立行政法人国立高等専門学校機構

明石工業高等専門学校

〒674-8501 兵庫県明石市魚住町西岡 679-3

電話 078-946-6017
